



# 2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

## 「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラッソ / 第 2620 地区がバナー 星野義忠 / 会長 鷲津有一 / 幹事 鈴木一広  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティ浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800  
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



### 第750回例会1月29日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：リビー・ジョーセフ・マテュー 中野雄介
- 点鐘：鷲津有一
- 週報：寺田洋平
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」
- ゲスト：遠州国学セミナー代表、賀茂真淵翁遺徳顕彰会会長 山下智之様

### 出席報告/スマイル報告

会員数 79 名 (内出席免除会員 2 名)  
出席数 60 名 出席率 77.92%  
前々回出席率 80.52%

スマイル 1 件  
西尾会員

### 会長挨拶

#### 鷲津会長

おはようございます。ゲストでお見えの山下智之さん、朝早くからお越し頂きありがとうございます。郷土の生んだ偉



人、賀茂真淵翁についてお話を頂けるとのことで、とても楽しみにしています。冒頭、悲しいお知らせがあります。安藤幸史会員が昨日お亡くなりになったそうです。あまりに突然の訃報に言葉もありませんが、安藤さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、話は変わりますが、昨年訪日外国人数は、3,100 万人を超え、過去最高となりました。日本のどこに行っても外国の方がいることに違和感を覚えなくなりつつあります。昨年、天然記念物である「忍野八海」に行きました。12 月の平日だったからか、駐車場に自家用車は少なく、ゆっくり観光できると思っていたのですが、観光バス駐車場は満車状態、池の周りでは外国語ばかりが耳に入ってきました。池と池を結ぶ道路わきには様々なお店や屋台で土産物を買っていますが、ある屋台で思わず足が止まりました。その屋台は無人で果物販売をしていましたが、なんと値札の商品名が中国語表記だけでした。見た目で見分ける果物はいいのですが、そうでないものは何の果物かわかりませんでした。これには驚きました。また、お店では店員さんが普通に中国語で売り込みしており、日本の観光地であることを忘れてしまいそうになりました。今後さらに来日客が増えると日本で観光するより海外に行った方がストレスなく観光できるのかもしれないと思いました。

### 幹事報告

#### 鈴木幹事



- ① レターケース内にロータリー財団の寄付金領収書が入っています。
- ② ジョー会員への地区委員の委嘱状の贈呈式です。



### 委員会報告

#### 職業奉仕委員会 河村さん

・1月26日に山梨県都留で、職業奉仕の地区セミナーが行われ、元 RI 理事の黒田様の講演がありました。  
\* 講演内容については事務局に CD あり。

・職業訪問例会の件で、グループ長だけにメンバー表が入れてあります。

#### クラブ研修委員会 金山さん

・例年行っている新人研修会を2月23日18時半～オークラで行う予定です。ご参加の程、宜しくお願いします。

# 議 事

**山下智之様 卓話**  
**「賀茂真淵と遠州国学について」**  
**担当 ロータリー情報委員会**



- 略歴** 昭和 32 年 静岡県浜松市に生まれる  
 昭和 55 年 日本大学文理学部卒業  
 平成 7 年 学校法人オイスカ高等学校を退職
- 現在**
- ・(有)あらたま企画取締役社長
  - ・日本プロテニスエンタープライズ株式会社顧問
  - ・遠州国学セミナー代表
  - ・賀茂真淵翁遺徳顕彰会会長

\* 賀茂真淵は浜松市にとって大事な人。国学を研究した人というイメージであるが他にもあります。  
 学問の神様といえば菅原道真が有名ですが、だいたいの古典の解釈文は賀茂真淵によって作られています。

## 記念館にある銅像



元禄 10 年～昭和 6 年までの 73 歳まで生きる。当時の平均年齢は 40 歳くらいだったため長生きされたと思われます。江戸時代を生きたひとであります。

今年は 2019 年、真淵没後 250 年になります。本来であれば浜松市などが中心となり、だいたいの賀茂真淵を祭る形になるといいがそうもいかないため気が付いた人がやるしかないとおもいます。

江戸時代は漢学、儒学、蘭学である。外国の文学を取り入れようとした時代。「国学」の目的は（・明き 明朗・浄き 清廉・直き 素直）→「誠の心」

戦国時代が終わり、徳川家康がきちんと幕藩体制を築こうと外国に習うべきということで、中国・韓国・オランダなどと交流することで外国の文化を取り入れようという時代。素晴らしいことだが本来あるべきことは、自国を知ること。そこで真淵は江戸時代以前の文学に没頭した。真淵を祭つてある神社が縣居神社であります。4 年前に建て直した鳥居です。

この鳥居は雨風にも耐える樹木を使っております。浜松は「徳川家康」と「賀茂真淵」であります。この 2 人が浜松の土台を作ったと言えるでしょう。

\* 詳細は音声データにて確認できます



## スマイル報告

### 西尾さん

山下智之様、今日は朝早くから当クラブ例会に卓話をいただき誠に有難うございました。いつも山下先生の至誠（しせい）からくる郷土愛、推譲（すいじょう）の思いを持った行動力に敬意を感じております。これからも地域のため地域の子供たちのためにもご尽力いただければ嬉しく思います。またご指導の程宜しくお願い申し上げます。